

農林水産省食料産業局長賞

『うみはたのサラダ』

兵庫県明石市立沢池小学校 四年 女子 山野井 裕紀

「お母さん、うみはたのサラダ作って。」

その日の給食メニューを、家で、もう一度食べたくて、学校から帰ってきてすぐお母さんに話しました。

「それなあに？うみはたって何なの？」

お母さんは、何の事かわからないという感じで私の顔をじつと見て言いました。その日の給食に出た小おかずの『海と畑のサラダ』は、クラスでも大人気のメニューです。学校ではみんながりやくして『うみはた』と言っているのです、お母さんにはわからなかったのです。

「海と畑のサラダを作って。」

私は、正かくに言い直しました。でも、お母さんはそのメニューを初めて聞いたようで、何が入っているの、どんな味なのと私にいろいろ聞いてきました。コーンとシーチキンとキャベツと黒い海そうとニンジンが入っていると思うけど、味は良くわからないと答えました。するとお母さんは、

「ああ、それで『海と畑のサラダ』なんだ。」と、とてもなつとくして、一人でまん足そうにしていきました。海の幸と畑の幸が入ったえいようまん点のおかずだねとそのわけを教えてくださいました。

「家でもチャレンジしてみたいけど、作り方がわからないから、えいようしの先生に作り方を聞いてきて。」

さつそく、次の日に先生に聞きに行きました。先生は、私にも読めるようにていねいに紙に作り方を書いてくれました。とてもうれしくなつて、家に帰つてすぐお母さんに見せました。お母さんは、

「これなら、裕紀といっしょに作れそうね。明日、材料を買ってくるから、いっしょに作ろうか。」

次の日、約束どおりお母さんといっしょに『うみはた』を作りました。学校で食べたのと少しちがうような気がしましたが、とてもおいしかったです。手作りの『うみはた』は私とお母さんとえいようしの先生の愛情たつぷりのメニューです。

それからしばらくして、家族みんなで明石市の給食展へ行きました。そこでは、給食のおかずのレシピがいろいろ置いてありました。その中に『うみはた』もありました。えいようしの先生が書いてくださったものと同じでしたが、一つだけ付け加えられていました。

『給食では、明石でとれたキャベツを使用しています』という文です。

私たちが毎日食べている給食は、地元でとれたものも使つて、私たちのえいようを考え作られていることを知りました。給食は、調理しさんやえいようしの先生、材料を育てているいろいろな人の愛情と心がこめられているのだなと思えました。そんな給食をこれからものこさず食べようと思います。そして、私の作れるレシピをもつとふやしたいです。